

関西学院大学「ハンズオン・プラクティス」に講師を派遣

～ 信用金庫の社会的使命や「個人や組織の成長」をテーマに白熱討論 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、12月6日（金）、関西学院大学（本部 西宮市、学長 森康俊）ハンズオン・ラーニングセンターで開講する「ハンズオン・プラクティス」プログラムに、昨年度に続き講師を派遣しました。

本プログラムは、金融・製造・建築など幅広い分野からゲストを招き、学生たちがゲストとの対話を通じて「大学生が身につけるべき学び」「社会の一員として何に向き合うのか」等、学び方を学び、考える力を養う教育プログラムです。

当日は、「個人や組織の成長」をテーマに、当金庫の設立経緯や信用金庫の社会的使命、個人や組織・地域の成長の在り方など、学生と討議を重ねました。

当金庫はこれまでも、地元大学等での寄付講座・セミナーの開催、インターシップの受け入れなど、教育活動を通じた地域貢献活動を行ってきました。今後も大学等との連携を図り、地元大阪の将来を担う人材育成に貢献してまいります。

記

- 日時 令和6年12月6日（金）
① 11:10～12:50
② 15:10～16:50 ③ 17:00～18:40
- 場所 ① 関西学院大学 神戸三田キャンパス（三田市）
②・③ 関西学院大学 上ヶ原キャンパス（西宮市）
- 科目名 ハンズオン・プラクティス
(担当教員 ハンズオン・ラーニングセンター 向井光太郎 准教授)
- 内容 当金庫の設立経緯や信用金庫の社会的使命、企業への支援活動を事例に、個人や組織・地域の成長の在り方と、背景にある家族や仲間との絆や信頼関係の構築について幅広く討議
- 講師 大阪シティ信用金庫 副理事長 畑中一起
総合企画部部長 松下直樹
総務部広報室次長 吉成良輔
- 受講生 関西学院大学の学生 120名



役職員と学生が白熱討論



畑中副理事長から学生への問題提起

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

